



技術の粋を集め

常務取締役
柳谷 彰彦

山陽特殊製鋼技報第22巻の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2015年度は当社第9次中期経営計画の中間年度にあたります。第9次中期経営計画の経営基本方針は「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による企業価値の増大と成長を目指して

- ・ グローバル競争に打ち勝つための企業価値の更なる強化
- ・ 技術先進性の拡大
- ・ 鋼材事業の持続的成長と非鋼材事業の強化によるトータル収益力の向上

であり、あらゆる経済環境下でも最善の収益を確保し得る、強靱な企業体質の構築を目指し、目標に向かって取り組んでいるところです。特に特殊鋼において、グローバル競争力の強化は喫緊の課題であり、非価格競争力の強化に一層注力するとともに、コスト低減等の内部努力を重ね、高品質の特殊鋼を安定供給できる事業体制の構築に向けて総力を挙げて取り組んでいます。

山陽特殊製鋼技報は本巻で第22巻となり、これまでに、新技術、新商品、新設備および環境対策など、その時々最新の技術情報をご紹介してまいりました。当社の本社・工場は姫路市に所在しています。本技報は1994年の創刊以来、その表紙は、毎巻、世界文化遺産、「国宝 姫路城」のデザインで飾ってまいりました。この姫路城は、2015年3月に5年の歳月をかけた平成の大修理が完了し、新たな雄姿を現しました。創建当時には技術の粋を集め、現代人からみても当時としては高度な技術がお城の随所には工夫されているとのことで、その考え方は現代でも高く評価されています。

山陽特殊製鋼技報においては、特殊鋼技術の粋を集め、最先端の技術情報を紹介してまいりました。そして、これらの最新情報も新たな技術革新により、次々と更新され、また今後も更新されていかねばなりません。しかしながら、技報を通じて理解していただけるベースにある、ものの見方、考え方は普遍的な価値があるものとして伝承していくべきと信じています。

山陽特殊製鋼は80余年の歴史の中で培ってきた、「高纯净度鋼製造技術」をベースに、鋼材事業の持続的成長を目指し、また歴史は浅いが技術先進性に優れた粉末事業をはじめとする非鋼材事業の強化に取り組んでいく所存です。

今後とも皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。